

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 54 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2021 年 1 月 27 日 (水) 13 : 30～15 : 45
2. 場所 Webex によるオンライン会議
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 木倉 (主査), 浅見 (副主査), 白井 (幹事), 松本 (務), 松岡, 大岩, 清水,
山根, 影山, 澤, 亘, 松本 (光), 北瀬 (13 名)
(代理出席委員) 安達 (檜崎代理) (1 名)
(委員候補) 島 (1 名)
(欠席委員) 小佐古 (1 名)
(常時参加者) 石川, 広瀬, 本田, 樋口, 下条, 高橋 (秀), 工藤 (7 名)
(欠席常時参加者) 堂守, 蓬田, 木下, 村松 (4 名)
4. 配付資料
F4SC54-1 人事について
F4SC54-2 第 53 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録 (案)
F4SC54-3-1 標準委員会の活動状況
F4SC54-3-2 原子燃料サイクル専門部会活動状況報告【抜粋】
F4SC54-4-1 第 84 回原子燃料サイクル専門部会議事メモ (84-3 関係)
F4SC54-4-2 “使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準 : 201X”
標準改定原案に関する原子燃料サイクル専門部会決議投票で頂いた意見の
対応について
F4SC54-4-3 第 82 回標準委員会議事メモ (82-3-06 関係)
F4SC54-5 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の作業進捗状況報告について
F4SC54-6-1 標準委員会決議投票結果について
F4SC54-6-2 標準改定案 (第 82 回標準委員会 (2020.12.2) 版) に対する決議投票時標準
委員会コメント対応一覧表
F4SC54-6-3 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準」の修正
前後比較表 (抜粋)
F4SC54-7 リサイクル燃料貯蔵分科会 倫理教育研修意見概要
F4SC54-8-1 「標準策定 5 か年計画の更新ガイドライン (2020 年(令和 2 年) 12 月 2 日
改定 2)」に基づく新知見情報の収集について
F4SC54-8-2 原子燃料サイクル専門部会 標準策定 5 か年計画 (2021 年度版 案)

参考資料

- F4SC54-参考 1 標準委員会 専門部会運営通則他
- F4SC54-参考 2 標準作成ガイドライン：2020
- F4SC54-参考 3 倫理教育研修 分科会委員ご意見
- F4SC54-参考 4 標準策定 5 か年計画の更新ガイドライン 2020 年 12 月 2 日改定 2
- F4SC54-参考 5 リサイクル燃料貯蔵分科会 名簿

5. 議事

幹事より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の 2 / 3 以上の委員数を満足している旨の報告がなされた。

(1) 人事について

- F4SC54-1 に基づき、委員退任の報告及び委員選任の決議が行われ了承された。

(2) 前回議事録確認

- 前回議事録（案）として F4SC54-2 の確認が行われ、コメントなく了承された。

(3) 標準委員会等の活動状況について

- 白井幹事より、F4SC54-3-1 及び F4SC54-3-2 に基づき、標準委員会及び原子燃料サイクル専門部会の至近の活動状況について報告がなされた。

(4) 原子燃料サイクル専門部会及び標準委員会の審議結果について

- 白井幹事より、F4SC54-4-1, F4SC54-4-2 及び F4SC54-4-3 に基づき、原子燃料サイクル専門部会及び標準委員会での金属キャスク標準改定に係る審議結果について報告がなされた。
- コメント反映にあたって再審議不要な「軽微な変更」と判断される旨、専門部会及び標準委員会で了解いただき、標準委員会での決議投票に入ったことの補足がなされた。

(5) 作業会 1 の活動状況等について

- 松本（務）委員より、金属キャスク標準の改定作業の進捗状況について、F4SC54-5 に基づき報告がなされた。
- 主な意見は以下のとおり。
 - ・ 表 1 の制定とは、発刊のことを指すのか
→引用文献の許諾手続きに時間を要する場合には発刊は少しずれる可能性もある。

- ・ 表1の欄外の「*」に記載は削除すること。

(6) 標準委員会投票結果及び委員コメント対応案について

- 白井幹事より、F4SC54-6-1に基づき、標準委員会での決議投票の結果、可決されたこと、また、3名の委員よりコメントがあった旨の報告がなされた。
- 松本委員より、F4SC54-6-2 及び F4SC54-6-3 に基づき、委員コメントに対する対応方針案、及び作業会1で確認された新旧対比表の追加修正について説明がなされ、本日の審議での意見を資料に反映した上で、了承された。
- 主な意見は以下のとおり。
 - ・ コメント No.5 「再発性」との表現を JEAC の定義と同様に「再現性」に統一すべき。
 - ・ コメント No.10 コメント対応方針欄に、最新の標準作成ガイドライン (F4SC54-参考2) にある「改定版の適用の経過措置」に該当する旨を追加すること。また、同ガイドラインでは、「経過措置を適用して旧様式を使用した場合は、解説の懸案事項にそれを明記する」とされているため、解説にその旨を追記すること。
 - ・ 新旧対比表 178 頁の注記に記載の片括弧を削除すること。
 - ・ 作業会1で確認された追加修正については、コメント No.8 との関連で、エディトリアルな修正であることを明示すべき。

(7) 倫理教育研修について

- 白井幹事より、F4SC54-7に基づき、倫理教育研修の委員の受講結果、委員への問いかけに対する分科会委員の意見の概要について報告がなされるとともに、同資料を部会へ報告する旨の報告がなされた。

(8) 標準策定5か年計画について

- 白井幹事より、F4SC54-8-1に基づき、標準策定5か年計画の更新ガイドラインに基づいた新知見情報の収集について説明がなされ、本分科会において別紙1「新知見候補の提案要領」に該当する新知見の提案事項はないことが確認された。
- また、幹事より F4SC54-8-2 に基づき、当分科会の5か年計画（2021年度版）の案について提案がなされた。
- 審議の結果、コンクリートキャスク標準の改定スケジュールの記載に関し、2021年度の改定対応方針の検討を受け、「2022年度以降に対応を実施予定」であることを追記することとなり、具体的変更内容については、3役でとりまとめ確認の上、部会へ報告することとし、各委員へは結果を報告することで了承された。
- なお、更新された標準策定5か年計画の公開有無について幹事にて確認することとした。

(補足：分科会後確認の結果，標準策定 5 か年計画の更新ガイドラインにおいて，承認された 5 か年計画は HP で公開する旨明記。ただし，現状版は HP 上では公開されていない状況。)

(9) その他

次回分科会予定

- 2021 年 5 月

以 上